



広報

おゆみ

第56号

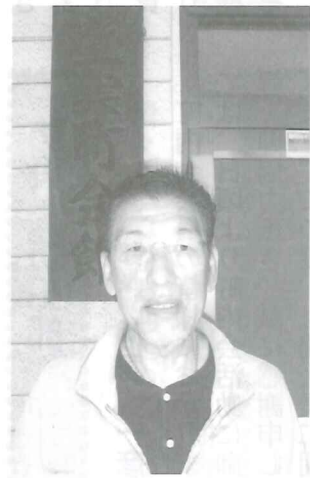
平成28年5月14日
発行：町内総務部
生実町会館 ☎ 268-1946

生実町ホームページ

<http://www.oyumi.com>

~~~~~伝統と創造のまち~~~~~

平成28年度町内行事スタート!!



会長 丸嶋 義雄

目に青葉・・・この頃生実町は素

晴らしくいい。町会長再任にあたり、この「良さ」を生かして、あそこも、ここもこうしたい、こうしておきたい、町づくりの夢は限りなく広がる。幸いにして、組長さんを始めとする役員一同、町づくりに燃えています。

生実池の護岸工事は終了しました。さらに生実池と蘇我池の一体化を考えた護岸工事を計画申請しています。仮称「生実公園」建設が遅れています。が、国の補助金の内示があり今年度内に完成予定で進むことができます。

生浜地区連絡協議会では、「安全と安心できる住みよいまちづくり」を目指し、行政などの関係機関と協働して、平成二十七年四月に生浜地区運営委員会が設立し、生浜地区全体に共通する課題に取り組むため、「青少年部会」、「高齢者・要支援者部会」、「防災部会」を設け、各部会において、以下の活動を行います。

(一) 青少年部会

ア「あらたな力で見守る町づくり

生浜」の活動を引き継ぎ、児童・生徒が不審者等から身を守る制度である「こども110番のいえ」が有効に機能するように目を刷新する。

イ 児童・生徒が安全に登下校できるよう、PTA、子供会、セーフティウォッチャー、老人会及び地域住民が連携した見守り活動を行います。

(二) 高齢者・要支援者部会

高齢者・要支援者が安心して日常生活を営むことができるよう、以下の活動を行います。

ア「みんなで見守る町づくり生浜」の活動を引き継ぎ、民生委員・児童委員、千葉社会福祉協議会生浜地区部会、老人会及び地域住民が連携した、「二歩引いた位置からの見守り」(安否確認等)の実施について検討を行います。

イ 振り込め詐欺等の被害に遭わないための情報提供及び相談対応を行います。

(三) 防災部会

「あらたな力で見守る町づくり生浜」の活動を引き継ぎ、大規模災害(特に大地震)発生時における避難行動要支援者の安全確保のあり方について検討します。

ア 避難所開設・運営訓練の企画立案を行います。

イ 地域における防災訓練の実施に関する情報交換等を行います。町民の皆様には、運営委員会へ加入していただき、共に、活動していただくことにより、暮らしやすく、心の触れ合う町づくりに向けて全力を尽くしてまいりたいと考えております。

副会長 長谷川 功

会員の皆様には、日頃より町内会活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。四月二十三日に行われました総会において、役員・予算及び行事予定が承認され、平成二十八年度の町内会活動がスタートしました。町民体育祭・盆踊り花火大会・祭礼の町内三大行事等、年間行事を行っていくと共に、加速する地域高齢化への対応、地震等による自然災害への備え等々、多くの難題があるなか五十九名の組長さん・諸団体そして諸関係の皆さんと協力し、「安心・安全で住んで良かった生実町」を目標に活動して参りますので協力よろしくお願い致します。

副会長 増田 文夫

町内会の皆様には、日頃より町内会活動にご協力、ご理解を頂きありがとうございます。

今年度、町内会では丸嶋会長の下、体育祭、盆踊り花火大会、祭礼、そして防災訓練等の行事を計画しています。

生実町も高齢化が進み、伴う課題も多くなります。町内の皆様と共に

取り組む考えです。新年度より新しい役員も加わり、丸嶋会長の指導で、安心、安全な町づくりを目指します。町民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



各部長からの

メッセージ

総務・会計部

部長 中村 洋一

青葉が目眩しい今日この頃、会員の皆様におかれましては、ご健勝の事とお慶び申し上げます。昨年度末にて任期満了でしたが、丸嶋会長の再任にあたり今期も役員を務める事となりました。これからもご指導の程宜しくお願い致します。

四月二十三日に、平成二十八年の生実町内会総会が行われ、町内会予算・行事計画、共にご承認をいただきました。ご協力くださいました皆様にはお礼申し上げます。

本年度は生実町会館の下水道の整備を予算に組み入れさせていたいただきました。昨年度より、県の浄化槽検査機関から、浄化槽の漏水を指摘されているためです。できるだけ早く修理を行えればと考えております。

また、会館の修繕・建て替え費用の積立金額も予算は決めておりますが、建て替えが考えられる様に、決算に際して増額したいと考えております。会館のご利用等について、お気づきの事がありましたらお知らせ下さい。

本年度も、会員の皆様、諸関係・諸団体の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

環境部

部長 佐藤 薫

平成二十八年度、昨年に引き続き環境部長を務めさせていただく事となりました。

始めに、生実池（チビツ子広場）の護岸工事も終了し、北側部分を残すだけとなりました。

今年度中に要望書をあげ、池周辺の整備をしていきたいと思います。又、国からの予算も決定し生実町公園（仮名）が今年度中に完成する運びとなりました。環境部として、みなさんの声を聞きながら公園課と話し合いを進めていきたいと思っています。

そして、ゴミの問題であります。二十八年度末で北谷津焼却炉が閉鎖となります。従って二十五万四千トン以内の生ゴミを二ヶ所の焼却炉で消化しなければなりません。その為五月より、木の枝、刈り草の資源収集を開始する事になりました。会員の皆様には、ご協力お願い致します。

【ゴミは、当日の朝に！】

防災・防犯部

部長 仲居 一彦

町内会会員の皆様におかれましては、日頃より町内会活動に御理解・御協力頂き、誠に感謝申し上げます。この度、丸嶋会長二期目にあたり前期同様、防災・防犯部の部長に任命され、お受けする事となりました。微力ながら町内の安心、安全の為、頑張っていきたいと思っております。

さて、皆様も御存知の通り九州地方に震度7の地震が発生し甚大な被害をもたらしました。家屋の倒壊や土砂崩れ等で避難生活を余儀なくされた方が大勢でいます。東日本大震災から五年、地震大国の日本、いつ千葉市に起こるかかわりません。各家庭で非常用の食料、飲料は必ず備えておいて下さい。

五月二十九日の町内会体育祭の時に、避難訓練を計画しておりますので、皆様すすんで参加して下さい。又、防犯街灯のLEDへの交換が今期、来期でおこなわれる予定です。

今年度も、より一層の御支援を宜しくお願い申し上げます。

文教体育部

部長 名久井 源一

本年度から丸嶋会長より任命され新任しました。

文教体育部に所属するのは初めてですが、経験豊富な役員の方々の手を借りながら活動して参りたいと思っています。

文教体育部は、例年通り春には町内体育祭、夏には盆踊り、花火大会、秋には生浜地区体育祭を予定しております。これら生実町内の伝統行事は、次世代の人達に継承しながら、新しいイベント等も考えていきたいと思っています。

この様な行事を達成させる為には町内会員の協力が必要となります。是非とも、行事には一人でも多く参加していただける様によりしくお願い致します。

青年会

会長 穴倉 剛秀

日頃より町内の皆様には、青年会活動にご理解・ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

私共の活動は、大きく取りざたされ賞賛されることのない地道な活動であります。しかしその活動が世代を越えて長く受け継がれているのは「人と人とのつながり」が大切にする文化が生実町には根づいているからだと思っております。今年度も青年会活動が、活気ある生実町の一助になるよう会員一同努力して参ります。

今後とも青年会活動に変わらぬご支援を頂きますよう、よりしくお願い致します。

婦人会

会長 中村 しめ

婦人会の活動がスタート。町民体育祭、盆踊り花火大会、生実神社のお祭り、生浜地区体育祭、淑徳大学学生による地域の子供達のプレイパークにも参加、又町会挙げての子供達の身守り、婦人会は毎月第二、第四金曜日に行っております。その他老人ホームの慰問、SOSの旗作り、六月に会館二階の障子張り、親睦を兼ねた日帰り旅行など計画しています。

去る三月六日防災避難訓練の際に、婦人会の作った『無事』という白い旗を門や玄関に出すように回覧がありました。消防団が町内を巡回したところあまり出されなかったと聴き残念でなりま

せん。生実町は高台にあるので津波の心配はありませんが地震はいつ起こるかわかりません。

昨今熊本、大分など地震、余震、土砂災害、余震は毎日のようにあり、避難されている映像を見ると心が痛みます。千葉市の地下にも活断層があると聞いております。他県ごとと思わず「自分の命は自分で」日頃の備え準備が必要ではないでしょうか。婦人会は「いざ」という時には皆様のお手伝いをさせていただきます。

子ども会

会長 小茂田 貴仁

薫風の候、生実町内の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

常日頃より、町内会役員、並び関係諸団体の皆様方には、子ども会に對しまして格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

村上会長の後を引き継ぎ、これからの一年間子ども会会長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。また、年四回行われていた廃品回収にも毎回多大なるご協力をいただき心よりお礼申し上げます。本年より休止したことで迷惑をお掛けいたしますことをお詫び申し上げます。

子ども会の活動は、町内会や諸団体、東小校区子ども会の各行事に参加協力させて頂いており、主な行事として、町内会体育祭、盆踊り花火大会、球技大会、子供神輿、クリスマス会、歩け歩け大会、年間を通じて公園清掃（生実池公園、

生浜公園）などを行っています。
少しでも興味がございましたら、
会員費は無料ですので、是非とも
ご加入くださりますよう、お願い
いたします。

百寿会

会長 青柳 孝治

新緑の候、町内の皆様におかれ
ましては益々ご健勝のこととお喜
び申し上げます。

本年度は会員数86名(男性35名、
女性51名、平均年齢78才)の陣容でス
タートしました。

私達の目的は健康長寿であり、
その為に、日頃からスポーツをは
じめ芸能、文化に勤しみ、併せて
地域社会と密接な係りを保ちなが
ら、活躍をしております。この活
動が自己の達成観や自己実現とな
り、老を防ぐ役割を果たしてい
るものと信じております。

当会におきましては、新しい会
員を常時募集しております。

活動の事前体験をすることも出
来ます。内容として、グラウンド
ゴルフ、ゲートボール、輪投げ、輪



花見 茂原公園にて H28.3.31

防災会

会長 山口 耕治

清々しい春をお迎えのことと存
じます。

昨年中は町内会活動へのご理解
とご協力を頂き誠にありがとうございました。
今年度も何卒宜しく
お願い申し上げます。

三月の避難訓練におきまして、
諸団体・町内皆様のご支援ご協力
を頂き、訓練に於いて幾つかの課
題も再確認する事が出来ました。

今後の防災活動にも展開し、更
なる防災意識の向上を図って参り
たいと思います。

お忙しい中、多数の方に参加頂
き誠にありがとうございます。

災害というものは何時何処で発
生するかはわかりません。

ご家族様の中でもいざと云う時
の為に避難場所確認と非常時に必
要となる非常食の確保(三日以上
の水と食料の確保)をお願い致し
ます。

最後になりますが、熊本地震で
被害に遭われた方へ心よりお見舞
い申し上げます。

消防団

部長 長谷川 政幸

平素より消防団活動に多大なる
ご理解、ご協力を賜りまして厚く
御礼申し上げます。

平成二十三年三月十一日に東日
本大震災が発生した後、今回平成
二十八年四月十四日、熊本地震が
発生し、尊い人命、財産が奪われ、
被災地の方々に心よりお見舞い申
し上げます。

今後関東地方にも巨大な地震の
発生が危惧されています。

我々消防団は震災以降、更なる
地震への警戒を怠ることなく一致
団結し、万一の時には直ちに巡視
出動出来るよう点検や連絡体制を
強化してまいりますので、今後とも消
防団に変わらぬご指導、ご鞭撻を
賜りますようお願い申し上げます。

女性消防団

部長 長谷川 久子

新年度を迎え、町内の皆様には、
日頃より、消防に対するご理解と
ご協力を頂きまして、ありがとう
ございます。

希望に満ちた新年度が始まり二
週間目の四月十四日に熊本地震が
発生しました。亡くなられた方々
のご冥福をお祈りすると同時に、
被災されました多くの方々のご健
康と、被災地の一日も早い復興を
心よりお祈り申し上げます。

いつ、どこで発生するかわから
ない災害に備え、私達女性消防団
も、微力ではありますが活動して
いきたいと思っております。

本年度もよろしくお願い致します。

スポーツ振興会

スポーツ推進委員地区理事

福 秀蔵

ご町内の皆様には、日頃よりス
ポーツ振興活動にご理解、ご協力
をいただきありがとうございます。
今年度、中村勇さんより理事を
引き継ぐことになりました。これ
からも今まで同様にご支援、ご協
力をお願い申し上げます。

昨年より町会のご協力等で人数
が増えましたので紹介します。ス
ポーツ推進委員は福秀蔵、秋元か
つ子、加藤崇雄、地区スポーツ委
員は田鎖かつ子、長谷川功、戸田
功夫、北見泰也、飯屋蘭隆美、小
茂田久美子の九名です。

地区住民の健康と体力増進の為
のスポーツ、レクリエーション活動と
町内諸行事等に積極的に参加し、
各諸団体の方々と共に安心安全に
暮らせる地域作りにと頑張ります。

生実神社

総代表 大塚 則雄

新緑の候、皆様方には益々ご健
勝の事とお喜び申し上げます。日
頃より神社におかれましてご協力
を賜り心より厚く御礼を申し上げ
ます。この度、四月一日より神社
総代表に就任致しました。何分
微力ではございますが、皆様方
のお力をお借りしながら頑張りたい
と思っております。又、年間行事も数々
ございます。その為には町内会長
様をはじめ町内の皆様、諸団体の
皆様、神社まもる会の方々のご協
力を頂きながら総代一同一丸とな

り神社繁栄、地域発展のために努
めて参りたいと思っております。今後共
更にご指導ご協力ご鞭撻の程宜し
くお願い申し上げます。

生実神社 年間行事

平成二十八年度
毎月一日・十五日 月例祭
十月 八日(土) 湯立式
十月 九日(日) 秋季大祭
十一月十三日(日) 七五三高祈願祭

平成二十九年

元旦(日) 歳旦祭
一月 七日(土) 毘沙門講受式
三月十五日(水) 春季祈禱祭

民生・児童委員

生実地区代表 木村 芳子

日頃は、民生・児童委員活動に、
ご支援、ご協力を賜り感謝申し上
げます。

私達民生・児童委員は、担当区
域において、五月、六月、二ヶ月間で、
高齢者を見守りながら、健康状況
を訪問し、お伺いしますので、ご
協力よろしくお願い致します。

今年度の敬老会は、生実東小学
校の体育館をお借りし、九月十八
日(日曜日)に開催致しますので、
元気で出席お願い致します。

生実町内で、介護や子育てへ
の不安等、生活上の相談に応じ、
行政をはじめ、適切な支援サービ
スの「つなぎ」としてお役に立て
ばと思っております。

子どもの身守りは、第一火曜日、
第四火曜日の下校時にお手伝いし
ております。

生実商工業会

会長 山本 広

新緑の候、若葉おくるこの頃、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度の熊本大震災に対し生実商工業会一同心よりお見舞い申し上げます。

生実商工業会チャリティーコンペは年二回、四月と十月に開催しています。先月の四月十四日四十六回目の開催で二十三年目となりおかげ様で歴史あるコンペとなりました。今回の優勝者は生実町総務部長の中村洋一さんでした。

チャリティー基金ですが、初回から千葉市福祉基金また交通遺児に寄贈してきましたが、平成二十三年に東日本大地震が起り義援金を千葉県旭市に寄贈、平成二十四年から生実町内会防災備品等の購入資金として役立てばと町内会に前回までに三回寄贈させて頂いております。これからのいつ当地区に起こるかも知れませんが、防災品の備蓄等に協力したいと思っております。

今月から花火大会の準備が始まります。生実町花火大会は昭和六十三年より平成二十六年まで生



実商工業会は後援してきましたが、平成二十七年より共催しています。今年も生実町会員の皆様に日頃の感謝の気持ちを花火に託したいと思っております。皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

＊はやし連＊

代表 岸 健一郎

新緑の候、町内の皆様におかれましては、益々ご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃より、当はやし連に対しましてご理解ご協力を賜り誠に有難う御座います。

本年度も、町内会や各諸団体の皆様方と協力し、町内行事である盆踊り花火大会、生実神社の祭礼行事に参加協力させて頂きたいと思っております。

太鼓稽古をなかなか多く出来ませんが、生実神社の社務所を借りて稽古をしていますので興味のあ

る方は声を掛けて下さい。本年度も、生実町はやし連に対

地域と大学との連携

淑徳大学副学長 磯岡 哲也

生実町町内会と淑徳大学との協働も九年目となりました。町内会の年間行事にかかわらせていただいて卒業していった学生諸君は五十人を超えております。ご承知のとおり大学は、教室や研究室にこもるかつての「象牙の塔」のイメージは払拭され、地域社会から学び、地域社会の方々と触れ合いを通して教育活動を行う存在に

なっております。町内会での活きた体験学習は、教室では味わえない能動的な学びを学生諸君に与えてくださっております。今年度も磯岡ゼミを中心とした学生諸君が、体育祭、盆踊り・花火大会、子ども神輿、餅つき大会等に参加させて頂いたいただきます。また、教育学の土井教授の受講生を中心として、小学生の方々とプレイパーク活動もいたします。どうぞ、本年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

平成28年度

町内合同会議(総会)終る

去る四月二十三日(土)二十八年度組長、町内会役員、諸団体役員による総会が開催され、議長に選ばれた戸田茂夫氏(12番4組組長)の明快且つ敏速な進行のもと、平成二十八年度予算審議、各部の年間行事、会計監査の三名が選出されました。

会計監査

9番4組 組長 池田 英樹氏
12番2組 組長 三浦 智弘氏
15番3組 組長 下向 弘志氏

の皆様が選出されましたのでよろしくお願いいたします。尚、組長さんにおかれましては、町会活動の窓口としてこの一年、何かとご苦労おかけすると思いますが、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

生実のむかし

今井 公子

生実神社入口には、小松石製の立派な鳥居が二基立っており、しかも一八〇五年と六年の一年違いで作られたもので、一の鳥居は「文化二年乙丑八月吉祥日・願主惣氏子中」とあり、二の鳥居は「文化三年丙寅八月吉祥日・願主生実地廻」とあり、生実藩の生実周辺の村(生実領一九村)の関係者が奉納したようです。

また、生実神社境内には御手洗が四基あり、水道を設置して現在も使用されている大きいものは文化三年八月なので二の鳥居と同時に。願主は北生実村、浜野村、古市場村、野田村(現在は菅田一丁目)の生実地廻り村の有力者に加えて、生実藩東領の屋形村と惣領村(現在は横芝光町)の有力者が連名して奉納しています。この御手洗は二の鳥居とセットだったようです。

さらに、この御手洗の右側面には「石坂 石橋 石垣」と刻まれていて、石造物の奉納セット品は他にもあったのです。それらはどこに奉納されていたのでしょうか。神社の石橋としては、柏崎の八幡宮のものが小松石製で蘇我へ流れる用水路に掛かっており現役で利用されています。これらについては文化二年(一八〇五)十一月の威光院(八幡宮に付属して置かれた寺院)の再建完成に際し、八幡宮へも石鳥居・石灯ろう・石坂・手水鉢・石橋・石垣が献上されたと記録されています。

ますので、生実神社で現役の御手洗は柏崎八幡山の八幡宮のものであったと考えられます。

北生実村の寛政二年(一八〇〇)明細帳によれば、生実藩主は柏崎に八幡神を勧請し、五石余の社領地を寄進していました。また、鎮守御霊大明神(明治四三年に生実神社と改称)と諏訪大明神(向宿)と頼政大権現、天満天神(新作、現在の塩田町内)は、それぞれの社地の年貢を免除しました。

頼政神社は柏崎台に千葉氏家臣団の嫡木氏が勧請したといわれ、明治四三年二月一日に村社の御霊神社に合祀し、三月三〇日には御霊神社は生実神社と改称しました。頼政神社の社地は明治四三年に県立生実学校の拡張敷地として買上げられました。この年、生実神社に合祀された村内一〇社の石祠や石造物は生実神社に遷宮・移築され、八幡宮の鳥居や御手洗も移築されたのでしよう。

生実神社境内にある他の三基の御手洗のうち、大杉の根元の分は八幡宮から移転したもので、元禄一三年(一七〇〇)



に造られたものです。また、狛犬の手前左側の御手洗には寛政一年(一七九九)と刻まれています。町中の神様が集まっている生実神社は最高のパワースポットなのです。

編集後記

幼い頃、母に手を引かれて歩いた生実池(子供達は皆「弁天池」と呼んでいました)は、当時は大人の背丈程もある葦が生い茂る湿地でした。それから季節は流れ、何度も春を迎え、今では桜の名所として、そして最近では新たな鯉のぼりスポットとして生実町のシンボルになっています。雄々

と大らかにたなびく鯉のぼりの様に、毎日明るくのびのびと、そして安心して暮らせる生実町を町民の皆様と一緒につくっていきたくと思います。町内会活動も新組長さんを迎え今年度がスタートいたしました。皆様のご意見、ご要望を是非お寄せ下さい。(総務・会計)